

松岡莉子 プロフィール

ケルティックハープ奏者、作曲家。

英国王立スコットランド音楽院(Royal Conservatoire of Scotland)スコットランド音楽学科(スコティッシュハープ科)の修士課程を日本人で始めて修了(Award: Master of Music)。在学中は音楽院より奨学金を授与される。



2018年、英国スコットランドで開かれた英国最大のケルティックハープのコンクール "The Princess Margaret of the Isles Memorial Prize for Senior Clàrsach" にて優勝。コンクール決勝では4人のファイナリストのうち一人として英国スカイ島のアーマデル城でリサイタルを行い、アジア人初のスコティッシュハープコンクール優勝者として複数の現地メディアに取り上げられる。

3歳でピアノ、14歳でレバーハープ、グランドハープを始める。これまでにグランドハープを宇野友基子氏に、スコティッシュハープをコリーナ・ヒーワット氏、カトリオーナ・マッケイ氏、レイチェル・ヘアー氏、ジェシカ・バートン氏に師事。2016年、イギリスハープ協会奨学生に選ばれた事をきっかけに英国スコットランドへ渡英し、現在は「ケルティックコネクション」、「エディンバラハープフェスティバル」出演など、スコットランド・日本を拠点に活躍を続けている。

長嶺 知永子 (語り)



私は語り手。お話を自分の中からでてくるように語って、40年。頼まれればどんなところにも行きました。たった一人でも聞いてくれる人がいれば、語ります。今はアトリエがらがらどんで、お話に関係する小物を作ったり、お話の講座を開いたりしています。今回は、松岡莉子さんのスコティッシュハープの演奏・講演会ということで、ケルト諸語圏のお話の中から、アイルランドのお話を清水祥江さんのハープとともに語ります。夢幻的なケルト文学の世界をお楽しみください。

清水 祥江



大阪音楽大学音楽学部声楽学科卒業、数々のオペラやミュージカルに出演するさなか、2005年、ハープとの出会いがあり、井爪紀子氏の指導のもと、グランドハープを研鑽、その後アイリッシュハープでの演奏活動を開始。

病院やホスピス、京都興正寺や高野山金剛峯寺での演奏に加え、小さな子供たちからご高齢の方々が集まるイベントなど、幅広く演奏を行う一方、2016年にアイルランドに渡り、現地でのサマースクールやコンペティションに出演。2018年には、ドイツ・マグデブルグの音楽祭に、日本人として初めてグランドハープでの弾き語りで出演。

音楽サロンCube Creaを主宰し、海外在住ハープ奏者や、松岡莉子氏をはじめ、トラディショナルのハープ奏者を招き、ワークショップやライブを企画している。

NARA EU ケルティックハープクラブ



小林 水木 堀
高島 向井 萬田

2017年2月、奈良市内でのハープ体験講座をきっかけに集まったメンバーが、リーダー高島眞貴子のもと、京都・奈良EU協会のメンバーを中心に結成された、アイリッシュハープを楽しむグループ。

現在、月1回、生駒市内で清水祥江の指導のもと、26弦のアイリッシュハープを傍らに、練習をおこなっており、これまでにEU協会の主催するイベントなどで、登大路ホテル、ろくさろん、奈良ブルーノートなどに出演している。

当時スコットランド留学中であった松岡莉子氏の一時帰国の折には、ワークショップにメンバー全員で参加し、スコティッシュハープの曲にも挑戦している。

ご挨拶

こんにちは。NARA EU ケルティックハープクラブです。

素敵な音色を奏でることができるこの小型でエレガントな楽器:アイリッシュハープにすっかり魅入られた私たちです。

これからもみんなで頑張っていきたいと思っていますので、どうぞよろしく願いいたします。

さて、この度は、スコットランドの伝統楽器:スコティッシュハープの素晴らしい演奏家の松岡莉子先生を皆様にご紹介させていただきます。

松岡先生は、錚々たるハーパーがいるスコットランドのハープのコンクールで見事優勝された実力の持ち主です。

スコットランドの王立音楽院で、日本人で初めて修士課程を修了された松岡先生の留学体験談は、これからハープを学びたいと思っておられる方々にはきっととても参考になると思います。

本場スコットランドの風を感じるかのようなスコットランドの演奏を、ぜひ多くの方にお楽しみいただきたいと思います。